

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	社会	学年	1年
----	----	----	----

1 学習の目的

- 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。
- 現代社会の見方、考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	<p>地理分野</p> <p>1 編</p> <p>1章 世界の姿</p> <p>2章 日本の姿</p> <p>歴史分野</p> <p>1章 歴史へのとびら</p> <p>①歴史をとらえる見方・考え方</p> <p>②身近な地域の歴史</p> <p>2章 古代までの日本</p> <p>①世界の古代文明と宗教のおこり</p> <p>②日本列島の誕生と大陸との交流</p> <p>③古代国家の歩みと東アジアの世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察、表現する。 ・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などをもとに、日本の地域構成を大観し、理解する。 ・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して、多面的・多角的に考察・表現する。 ・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解する。 ・資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身につける。 ・世界の古代文明や宗教のおこりをもとに、世界の各地で文明が築かれたことを理解する。 ・古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を育てる。
2 学期	<p>地理分野</p> <p>2編</p> <p>1章 世界各地の人々の生活と環境</p> <p>2章 世界の諸地域</p> <p>①アジア州</p> <p>②ヨーロッパ州</p> <p>③アフリカ州</p> <p>④北アメリカ州</p> <p>⑤南アメリカ州</p> <p>⑥オセアニア州</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州に顕在化している地域的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 ・ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、各州の地域的特色を大観し、理解する。 ・アフリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究する。 ・北アメリカ州に暮らす人々の生活をもとに、各州の地域的特色を大観し、理解する。 ・南アメリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。 ・オセアニア州で顕在化している地域的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。

3 学 期	歴史分野 3章 中世の世界 ①武士の政権の成立 ②ユーラシアの動きと武士の政治の展開 4章 近世の日本 ①ヨーロッパ人との出会いと全国統一	<ul style="list-style-type: none"> ・中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を育てる。 ・ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、近代社会の基礎がつけられたことを理解する。
-------------	--	---

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習過程を通じた知識、技能を習得することができるか。 ・他の学習でも活用できる程度に概念を理解したり、技能を習得したりできているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単元テスト ・学習課題に対するまとめ
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・知識、技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・発表ノート ・単元テスト ・学習課題に対するまとめ
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・知識、技能を獲得し、思考力、判断力、表現力を身につけることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしているか。 ・粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・授業中の対話・発表活動（タブレットPCに記録保存） ・家庭学習の取り組み状況 ・単元テスト

4 「確かな学力」のためのアドバイス

<p>1. 社会科の学習について</p> <p>社会科の学習では、そんな人間社会の構造を「地理」、「歴史」、「公民」と3つの分野から学習し、より良い「社会」を形成していくためにはどうすればよいのか考えを深めていきます。様々な資料を活用し、対話的な学習をしながら学びを深めていきましょう。</p> <p>2. 授業のきまり</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業準備は休み時間に済ませ、2分前には着席しましょう。 ② 授業で使う道具の貸し借りは禁止です。忘れ物をした場合は、授業前に先生に申し出ましょう。 ③ 全体学習や少人数学習で、人が意見を発表しているときには、話をしっかりと聞きましょう。 ④ 提出物は、決められた期限までに終わらせて提出しましょう。 <p>3. 授業で使う道具</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教科書・資料集・地図帳・・・資料を読み取ったり、解説を読んだりします。 ② ファイル・ノート・・・配付されたプリントを保管するのに使用します。 ③ 筆記用具・・・鉛筆・消しゴムの他に赤、青2色のボールペン。ラインマーカー。 ④ タブレットPC・・・学校で配付されているPC。プレゼン発表やレポート提出に使用します。 <p>4. 授業中の少人数学習</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 4人一組で学習します。 ② 学習リーダーが中心となって、全員が意見を発表しましょう。 <p>5. 家庭学習</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 予習・復習として教科書をよく読むこと。 ② 配付されたワークは定期テストに向けて、どんどん取り組みましょう。 ③ タブレットを使ってジャストスマイルでどんどん進めてよいです。 ④ 単元を貫く学習課題を意識し、探究的な学習をすすめると力がついていきます。 ⑤ ニュースや新聞を見て、時事問題を自分事として考えられるようにしましょう。

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	社会	学年	2年
----	----	----	----

1 学習の目的

- 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究し、解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。
- 現代社会の見方、考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	<p>地理分野 第1章 地域調査の手法</p> <p>第2章 日本の地域的特色と地域区分</p> <p>歴史分野 第4章 近世の日本 ②江戸幕府の成立と対外政策 ③産業の発達と幕府政治の動き</p>	<p>・地形図や主題図の読み取り、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身につけさせる。</p> <p>・近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>・近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を育てる。</p> <p>・江戸幕府の成立と大名統制、身分制度と農村の様子、鎖国などの江戸幕府の対外政策と対外関係を基に、幕府と藩による支配体系が確立したことを理解する。</p>
2 学期	<p>地理分野 第3章 日本の諸地域 ①九州地方 ②中国・四国地方 ③近畿地方 ④中部地方 ⑤関東地方 ⑥東北地方 ⑦北海道地方</p> <p>歴史分野 第5章 開国と近代日本の歩み ①欧米における近代化の進展 ②欧米の進出と日本の開国</p>	<p>・日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。</p> <p>・日本の諸地域において、それぞれ①自然環境、②人口や都市・村落、③産業、④交通や通信、⑤その他の事象までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内での結びつき、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察・表現する。</p> <p>・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。</p> <p>・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。</p>
3 学期	<p>③明治維新 ④日清・日露戦争と近代産業</p>	<p>・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解する。</p> <p>・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代国家が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。</p>

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習過程を通じた知識、技能を習得することができるか。 ・他の学習でも活用できる程度に概念を理解したり、技能を習得したりできているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・単元テスト ・学習課題に対するまとめ
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・知識、技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・発表ノート ・単元テスト ・学習課題に対するまとめ
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・知識、技能を獲得し、思考力、判断力、表現力を身につけることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしているか。 ・粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとするか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・授業中の対話・発表活動（タブレットPCに記録保存） ・家庭学習の取り組み状況 ・単元テスト ・探究レポート

4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 社会科の学習について

人間は単純な「群れ」から始まり、高度な「社会」を形成することで暮らしを豊かにして生活してきました。社会科の学習では、そんな人間社会の構造を「地理」、「歴史」、「公民」と3つの分野から学習し、より良い「社会」を形成していくためにはどうすればよいのか考えを深めていきます。様々な資料を活用し、対話的な学習をしながら学びを深めていきましょう。
2. 授業のきまり
 - ① 授業準備は休み時間に済ませ、2分前には着席しましょう。
 - ② 授業で使う道具の貸し借りは禁止です。忘れ物をした場合は、授業前に先生に申し出ましょう。
 - ③ 全体学習や少人数学習で、人が意見を発表しているときには、話をしっかりと聴きましょう。
 - ④ 提出物は、決められた期限までに終わらせて提出しましょう。
 - ⑤ 教えられるのを待つのではなく、自ら学習しましょう。
 - ⑥ 自分で考えてわからないときは、友達や先生に聞きましょう。
3. 授業で使う道具
 - ① 教科書・地図帳・・・資料を読み取り、解説を読みます。
 - ② ファイル・・・配付されたプリントをファイリングします。プリントはA4(A3)サイズです。
 - ③ 筆記用具・・・鉛筆・消しゴムの他に赤、青などのボールペンやマーカー。
 - ④ タブレットPC・・・学校で配付されているPC。
4. 授業中の少人数学習
 - ① 生活班 or 4人班での活動がメインです。
 - ② 全員が意見を発表しましょう。
5. 家庭学習
 - ① ワークは指示が出る前にどんどん進めましょう。
 - ② eライブラリーもどんどん進めましょう。
 - ③ 教科書はすみずみまで読みましょう。

令和8年度 松戸市立常盤平中学校 学習の指針(シラバス)

教科	社会	学年	3年
----	----	----	----

1 学習の目的

- 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。
- 現代社会の見方、考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学 期	<p>歴史分野</p> <p>6章 二度の世界大戦と日本</p> <p>① 第一次世界大戦と日本</p> <p>② 大正デモクラシーの時代</p> <p>③ 世界恐慌と日本の中国侵略</p> <p>④ 第二次世界大戦と日本</p> <p>7章 現代の日本と私たち</p> <p>① 戦後日本の出発</p> <p>② 冷戦と日本の発展</p> <p>③ 新たな時代の日本と世界</p> <p>公民分野</p> <p>持続可能な社会の実現に向けて</p> <p>1章 現代社会と私たち</p> <p>① 現代社会の特色と私たち</p> <p>② 私たちの生活と文化</p> <p>③ 現代社会の見方や考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の政治、外交とアジアとの関係や欧米諸国の外交関係などを追いながら戦争までの経過を理解する。 ・戦争の加害と被害の両面から戦争を考察する。 ・平和な社会は国民の不断の努力により生まれ、希求する態度を養うことが大切であると知る。 ・経済や化学技術の発展とともにグローバル化が進展されていく流れと、日本の国際社会での役割を考察する。 ・自分たちが生きる現代社会の特色を概観し、持続可能な社会を形成していくために何が必要なのかを考える。 ・日本社会が抱えるグローバル化、情報化、少子高齢化などの特色について理解を深める。 ・日本の伝統と文化を学び、伝統的な文化を継承し、新しい文化を創造する態度を育てる。 ・社会生活における物事の決定の仕方などについて学ぶ。
2 学 期	<p>2章 個人の尊重と日本国憲法</p> <p>① 人権と日本国憲法</p> <p>② 人権と共生社会</p> <p>③ これからの人権保障</p> <p>3章 現代の民主政治と社会</p> <p>① 現代の民主政治</p> <p>② 国の政治の仕組み</p> <p>③ 地方自治と私たち</p> <p>4章 私たちの暮らしと経済</p> <p>① 消費生活と市場経済</p> <p>② 生産と労働</p> <p>③ 市場経済の仕組みと金融</p> <p>④ 財政と国民の福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊重や日本国憲法の基本原理を学ぶ。 ・日本国憲法の基本原理(国民主権, 平和主義, 基本的人権の尊重)を理解する。 ・基本的人権の種類やその内容を理解する。 ・人権の考え方の変化について考える。 ・民主政治の発達や、現代社会における民主政治の意義と課題についての理解を深める。 ・日本国憲法において規定される日本の立法、行政、司法機関やその関係を深く理解する。 ・地方自治や地域作りについての現状を理解し、その意義と課題について考えることができる。 ・経済活動と私たちの生活のつながりについての認識を深める。 ・身近な消費生活をもとに、自分たちの生活と経済との関連に気付く。 ・財政、福祉、社会保障、環境保全など多岐にわたる政府による経済活動の実態について理解し、その成果と課題について考える。

3 学 期	⑤ これからの経済と社会 5章 地球社会と私たち ① 国際社会の仕組み ② さまざまな国際問題 ③ これからの地球社会と日本	・社会資本の整備、公害の防止などの環境の保全、社会保障の充実などについて学ぶ。 ・国際社会における一員としての自覚を高め、資源・食料・エネルギー・環境問題などの現状を理解し、今後の課題について地球市民として積極的に考え、発表することができる。 ・国際社会で平和を維持するために、国際連合を中心とした国際協調路線形の重要性と、国際紛争の実態について理解を深め、解決の方向性について考える。 ・持続可能な社会の形成に向け社会参画するに当たり、自然と環境、人権と平和、医療と開発などのテーマに関連した知識が基礎となることを理解する。 ・持続可能な社会を形成するために解決すべき課題と、その解決策を、これまでの社会科の学習を基に考え、まとめる。
-------------	--	--

3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	・学習過程を通じた知識、技能を習得することができるか。 ・他の学習でも活用できる程度に概念を理解したり、技能を習得したりできているか。	・定期試験 ・単元テスト ・学習課題に対するまとめ
思考・判断・表現	・知識、技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身につけているか。	・定期試験 ・発表ノート ・単元テスト ・学習課題に対するまとめ
主体的に学習に取り組む態度	・知識、技能を獲得し、思考力、判断力、表現力を身につけることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしているか。 ・粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしているか。	・定期試験 ・授業中の対話・発表活動 （タブレットPCに記録保存） ・家庭学習の取り組み状況 ・単元テスト

4 「確かな学力」のためのアドバイス

<p>1. 社会科の学習について 人間は単純な「群れ」から始まり、高度な「社会」を形成することで暮らしを豊かにして生活してきました。社会科の学習では、そんな人間社会の構造を「地理」、「歴史」、「公民」と3つの分野から学習し、より良い「社会」を形成していくためにはどうすればよいのか考えを深めていきます。様々な資料を活用し、対話的な学習をしながら学びを深めていきましょう。</p> <p>2. 授業のきまり</p> <p>① 授業準備は休み時間に済ませ、2分前には着席しましょう。</p> <p>② 授業で使う道具の貸し借りは禁止です。忘れ物をした場合は、授業前に先生に申し出ましょう。</p> <p>③ 全体学習や少人数学習で、人が意見を発表しているときには、話をしっかりと聞きましょう。</p> <p>④ 提出物は、決められた期限までに終わらせて提出しましょう。</p> <p>3. 授業で使う道具</p> <p>① 教科書・資料集・地図帳・・・資料を読み取ったり、解説を読みます。地名を見たら、地図帳で調べよう。</p> <p>② ノート・・・配付されたプリントを貼ります。ルーズリーフでも可。</p> <p>③ 筆記用具・・・鉛筆・消しゴムの他に赤、青2色のボールペン。ラインマーカー。</p> <p>④ タブレットPC・・・学校で配付されているPC。</p> <p>4. 授業中の少人数学習</p> <p>① 4人1組を基本とします。</p> <p>② 全員が意見を言い合え、意見を共有できるように、まずは自分の意見を持ちましょう。</p> <p>5. 家庭学習 様々な学習ツールがあります。自分に合った方法を選んで、自らすすんで学習しましょう。</p>
